

大阪南校



「勝負の鬼」 岸田健太郎選手 (平成26年入部)

西川監督から贈る言葉



岸田は、天理大学の中村監督から、地元和歌山県出身で春にMVPと首位打者のタイトルを取り、また主将も任せるほどのリーダシップで、リーグ優勝、全日本大学選手権出場の原動力になった選手なので是非みてほしいとの連絡を頂きました。

セレクションでは、噂にたがわず「シユアなバッティング」と「堅実な守備、果敢な走塁」で原井コーチを唸らせました。

1年目は当初は2塁手で活躍も途中から、チーム事情により外野手にコンバートし西近畿予選で活躍して全日本クラブ出場に貢献も、直前の練習中のスイングによる手首の骨折により、西武ドームでは代走のみの出場と悔しい思いをしました。

2年目も内外野で活躍し、西近畿予選では3塁手として活躍も、またしてもOP戦での肩の脱臼により西武ドームではレギュラー出場は出来ませんでした。

それでも、岸田は黙々と野球に取り組み、口を開けば野球に厳しく「勝負の鬼」となり油断している選手には睨みを利かして背中チームを引っ張ってくれました。

西武ドームに嫌われ続けた岸田も3回目の西武ドームで内外野をこなすユーティリティープレイヤーとして大いに優勝に貢献してくれました。

チームの為に、内野、外野と文句一つ言わずにピンチを何度も救ってくれた岸田には感謝の言葉しかありません。

「勝負の鬼」である、スピードスターがチームを去るのは寂しいですが、これから仕事の方でも「仕事の鬼」となって、ここ一番の頼れる存在になって下さい。